

# 社会資本総合整備計画(第10回変更)

快適でうるおいのある空間の創出

平成27年1月16日

神奈川県海老名市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成27年1月16日

計画の名称	1 快適でうるおいのある空間の創出			
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	海老名市	
計画の目標				

相模川沿川地区は、「さがみ縦貫道路海老名インターチェンジ」の開設に伴う交通量の増加に対応した道路網の整備や地域防災の充実により生活環境の向上に向けた施策の必要がある地区である。  
 このような中、さがみ縦貫道路整備に伴う道路網の再構築により交通アクセス、交通安全、歩行者の快適性の向上、水辺資源を活用したうるおいのある都市環境の形成、交通拠点とレクリエーション拠点等を結ぶ水・緑・交通ネットワークの形成と各拠点の快適な空間形成及び活性化、防災・防犯機能の向上により安心・安全な都市環境の形成を図り、快適でうるおいのある空間の創出を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・道路網再構築による渋滞対策・歩行者空間の確保、雨水浸水対策や防犯灯設置等による防災防犯対策の強化を図ることで、市民の安全・安心に対する満足度を33%から35%に上昇させる。
- ・交通拠点とレクリエーション拠点ネットワークの形成と各拠点の快適な空間形成及び活性化を図ることで、下落傾向にある海老名運動公園の利用者数を93,000人／年に維持する。
- ・拠点間の歩行ルートの新設整備により、海老名運動公園とJR社家駅間の歩道の整備率を76%から100%に上昇させる。
- ・地域の拠点施設の充実等、生活環境の向上を図ることで、市民の生活の便利さ・満足度を50%から53%に上昇させる。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
市が実施する「市政アンケート調査」を基に、対象地区の「防災体制・対策」、「防犯体制・対策」、「歩道・信号の設置等の交通安全対策」、「幹線道路整備」、「交通機関へのアクセス」についての満足度を測定する。 海西・社家・門沢橋・上郷・下今泉地域回答／市全域回答	33%	35%	35%	
海老名運動公園の個人利用者数を測定する。	93,000人／年	93,000人／年	93,000人／年	
海老名運動公園とJR社家駅間の歩道の整備率を測定する。 歩道整備延長（m）／延長（m）	76%	76%	100%	
市が実施する「市政アンケート調査」を基に、対象地区の「文化・スポーツの施設」、「買い物等の生活の便利さ」についての生活満足度を測定する。 海西・社家・門沢橋・上郷・下今泉地域回答／市全域回答	50%	53%	53%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	5,718百万円	A (内提案分) 222 百万円	4,385百万円	B	421百万円	C	912百万円	効果促進事業費の割合 (A提案分+C) / (A+B+C)	19.83%
-------	---------------	----------	------------------------	----------	---	--------	---	--------	----------------------------------	--------

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	都市再生	一般	海老名市	直接	海老名市	相模川沿川地区都市再生整備計画事業	道路、都市公園、下水道等 547ha	海老名市						4,385	
合計													4,385		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-B-1	道路	一般	海老名市	直接	海老名市	市道50号線延伸整備事業	L=117m W=5.0m	海老名市						30	
1-B-3	道路	一般	海老名市	直接	海老名市	社家駅周辺整備事業	駅前整備等 約850㎡ 市道10号線 (L=95.0m W=9.5m) 市道50号線 (L=44.0m W=7.5m) 市道110号線 (L=300.0m W=11.0m) 市道512号線 (L=255.6m W=5.5m)	海老名市						260	
1-B-4	道路	一般	海老名市	直接	海老名市	市道2614号線ほか1路線道路新設事業	L=140m W=8.5m 用地156.31㎡	海老名市						11	別添4

1-B-6	道路	一般	海老名市	直接	海老名市	市道53号線歩道設置等整備事業	L=400m W=9.5m~15.0m	海老名市						70	
1-B-7	公園	一般	海老名市	直接	海老名市	(仮称)中野公園施設整備事業	管理棟、公園施設、駐車場整備	海老名市						50	
合計													421		

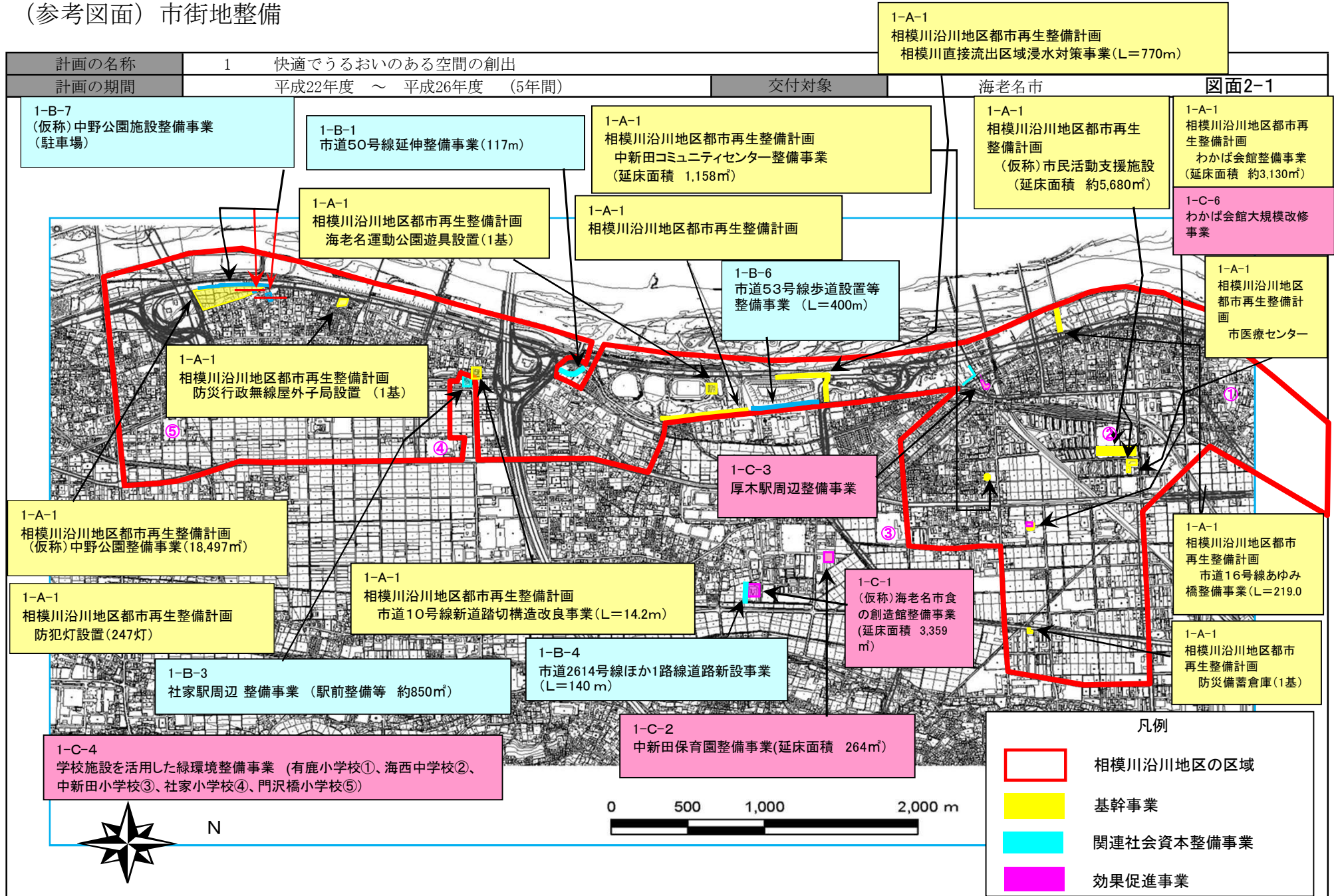
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
1-B-1	市道50号線延伸整備により、交通アクセス、交通安全、歩行者の快適性の向上を図る。														
1-B-3	社家駅周辺整備により、交通拠点とレクリエーション拠点を結ぶ水・緑・交通ネットワークの形成と各拠点の快適な空間形成及び活性化を図る。														
1-B-4	市道2614号線ほか1路線道路の歩道を整備することにより、歩行者空間の確保を図る。														
1-B-6	市道53号線道路を整備することにより、交通アクセス、交通安全、歩行者の快適性の向上を図る。														
1-B-7	(仮称)中野公園施設を整備することにより、レクリエーション拠点を結ぶネットワークの形成と地域の活性化を図る。														

C 効果促進事業

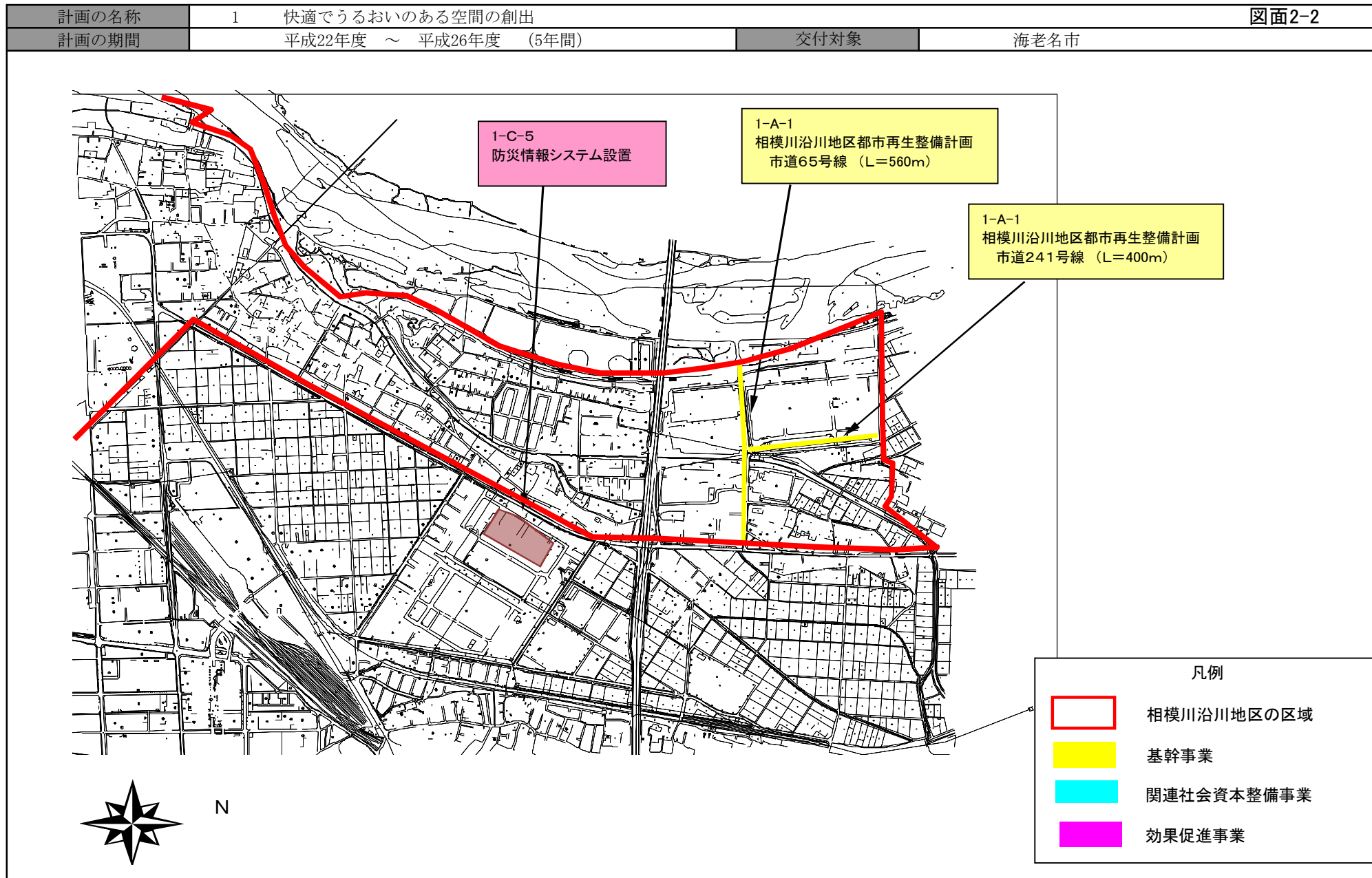
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	その他	一般	海老名市	直接	海老名市	(仮称)海老名市食の創造館整備事業	延床面積 3,359.3㎡ 地上2階建て	海老名市						426	
1-C-2	その他	一般	海老名市	直接	海老名市	中新田保育園整備事業	増築延床面積 264㎡ 平屋建て	海老名市						71	
1-C-3	その他	一般	海老名市	直接	海老名市	厚木駅周辺整備事業	面積 1,122.8㎡	海老名市						180	
1-C-4	その他	一般	海老名市	直接	海老名市	学校施設を活用した緑環境整備事業	アール解体・芝生化のための校庭整備(有鹿小学校、中新田小学校、社家小学校、門沢橋小学校、海西中学校) 芝生化のための校庭整備(有鹿小学校、社家小学校、門沢橋小学校)	海老名市						50	
1-C-5	その他	一般	海老名市	直接	海老名市	防災情報システム設置	超高感度情報システム、高速無線アクセスシステム設置	海老名市						105	
1-C-6	その他	一般	海老名市	直接	海老名市	わかば会館大規模改修事業	延床面積 約3,130㎡ 地上3階建て 個別空調設備設置、LED化照明、トイレ改修	海老名市						80	
合計													912		

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
1-C-1	防災の拠点としての機能や市民開放型の施設機能を付加した(仮称)海老名市食の創造館の整備により、広く防災対応効果の向上を図る。														
1-C-2	中新田保育園の整備により、各拠点の快適な空間形成及び活性化を図る。														
1-C-3	厚木駅周辺整備事業により購入した土地を市街地再開発事業において駅前広場に転換し、交通渋滞の解消等により交通利便性の向上を図る。														
1-C-4	学校施設を活用した緑環境を整備することにより、緑のネットワークの形成を図り、快適な空間形成及び活性化の効果を図る。														
1-C-5	防災情報通信システムを設置して防災対策の強化を図ることにより、市民の安全・安心に対する満足度の向上を図る。														
1-C-6	わかば会館の大規模改修により、防災の拠点(福祉避難所)としての機能を拡充し、防災対応効果の向上及び安心・安全な都市環境の形成を図る。														

(参考図面) 市街地整備



(参考図面) 市街地整備



# 都市再生整備計画(第11回変更)

さがみ がわ えん せん ち く  
相模川沿川地区

かなが わ けん え び な し  
神奈川県 海老名市

平成25年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	海老名市	地区名	相模川沿川地区	面積	547 ha
計画期間	平成 20 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度				

**目標**

大目標: 快適でうおいのある空間の創出

目標1: さがみ縦貫道路整備に伴う道路網の再構築により交通アクセス、交通安全、歩行者の快適性の向上を図る。

目標2: 水辺資源を活用したうおいのある都市環境の形成を図る。

目標3: 交通拠点とレクリエーション拠点を結ぶ水・緑・交通ネットワークの形成と各拠点の快適な空間形成及び活性化を図る。

目標4: 防災・防犯機能の向上及び福祉施設の充実により安心・安全な都市環境の形成を図る。

**目標設定の根拠**

まちづくりの経緯及び現況

○まちづくりの現況

- 海老名市は、神奈川県ほぼ中央に位置し、鉄道3路線が乗り入れ交通の要衝として発展してきており、鉄道利用により新宿まで41分、横浜まで31分と立地条件に恵まれている。
- 昭和50年には、59,000人余りであった当時の人口も、平成20年1月には126,000人を超えており、質の高い生活環境を整える必要があると共に、災害時において多くの市民を救援する施設等の充実を図るべく整備を進めている。
- 道路については市域を東名高速道路と国道246号が横断しているが、市域内にはインターチェンジが無く、市内の道路網については相模川及び鉄道網により交通が寸断され、その周辺部において慢性的な交通渋滞が発生している。
- 市域の西端を南北に相模川が流れており、首都圏の慢性的な渋滞解消の一環として整備が進められている圏央道の一部となる「さがみ縦貫道路」の整備が進み、平成21年度には「さがみ縦貫道路海老名北インターチェンジ」の開設が予定されている。
- 本地区は、「さがみ縦貫道路海老名北インターチェンジ」の開設に伴う交通量の増加に対応した道路網の整備や地域防災の充実により生活環境の向上に向けた施策の必要がある地区である。

○まちづくりの取り組み

- 平成21年度に供用開始を目指す、さがみ縦貫道路(仮称)海老名北インターチェンジのアクセス機能を確保するため、県・市で役割分担を定めアクセス道路の整備に着手している。
- 相模川の河川整備と合わせ、相模川沿いのレクリエーション拠点の充実を図るとともに、各拠点を結ぶ水辺の軸の形成を推進している。
- 近年の異常気象及び東海地震、南関東地震による災害や多発する犯罪、交通事故などに対応するため、防犯、防災、交通安全に係る既存事業の拡充及び新設などにより、市民、各種団体、事業所等と共同して全市的に事業展開を図り、関係する機関、団体との連携を強化し、広範かつ多層的な活動を推進している。
- 厚木駅周辺地区の市街地整備に関する調査・検討を行っている。

**課題**

- 平成21年度供用開始予定のさがみ縦貫道路海老名北インターチェンジ開設に伴う交通量の増加に対処するため、幹線道路並びに地区幹線道路の新設・整備により道路ネットワークを再構築し、渋滞対策に資する必要がある。
- 相模川を渡河する交通と市域を南北に通過する交通が錯綜し発生する、相模川沿いの慢性的な交通渋滞の解消のための道路網を整備し、生活道路への交通流入を防止する必要がある。
- 多量降雨に浸水対策のための整備拡充が必要である。
- 河川整備に伴い、既設道路が遮断されてしまうため道路整備の必要がある。また、高水敷等を利用した、自然環境と調和した都市環境の形成が望まれている。
- 生活・交通・レクリエーション拠点などのネットワークを形成するために歩行空間の整備拡充を行い、アクセス性及び安全性の向上を図る必要がある。

**将来ビジョン(中長期)**

- 第四次総合計画では、「快適に暮らす魅力あふれるまち 海老名」を将来都市像とし、基本構想で「健康で自立した暮らしの実現」、「いつまでも住み続けられる快適な暮らしの実現」、「産業の更なる振興」などの基本目標を掲げまちづくりに取り組んでいる。
- 平成9年度策定の都市マスタープランでは、地区ごとの課題で「安全かつ快適な環境への改善」「生活道路の改良や道路網の再編」を推進し、ゆとりと活力ある生活環境の形成を図り、暮らしに潤いを感じられる市街地環境の形成を目指している。

**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		目標値	
			従前値	基準年度	目標年度	
安全・安心に対する満足度	%	市民意識調査による安全・安心に対する満足度	29%	平成19年度	35%	平成24年度
海老名運動公園利用者数	人/年	海老名運動公園の利用者数	93,000人/年	平成19年度	93,000人/年	平成24年度
拠点間ルートの安全率	%	海老名運動公園とJR社駅間の歩道の整備率	76%	平成19年度	100%	平成24年度
生活の便利さ・満足度	%	市民意識調査による生活満足度	53%	平成19年度	53%	平成24年度



## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(道路網の整備により交通アクセス、交通安全、歩行者の快適性の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さがみ縦貫道路海老名北インターチェンジの供用開始に伴い増大する発生交通量及び相模川を渡河する車両による慢性的な交通渋滞に対応するため道路交通網の整備を図る。</li> <li>・歩行空間の整備により地区内の安全性を高め、各拠点施設の利用者の利便性の向上を図る。</li> </ul>	<p>道路事業(基幹事業/市道53号線整備事業、市道10号線新道踏切構造改良事業、市道16号線あゆみ橋整備事業、市道65号線・市道241号線道路修繕事業)、関連事業((都)河原口中新田整備事業、さがみ縦貫道路整備事業、市道2161号線整備事業、市道10号線整備事業、市道50号線整備事業、JCT内付替え道路事業、市道50号線延伸整備事業、市道2614号線ほか1路線道路新設事業)</p>
<p>整備方針2(水辺資源を活用したうおいのある都市環境の形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川改修による高水敷の有効活用を図るため、河川区域内の道路の橋梁化を図る。</li> </ul>	<p>道路事業(基幹事業/市道16号線あゆみ橋整備事業)、関連事業(相模川河川整備事業、さがみグリーンライン整備事業)</p>
<p>整備方針3(交通拠点とレクリエーション拠点を結ぶ水・緑・交通ネットワークの形成と各拠点の快適な空間形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区幹線道路や相模川沿いの歩行空間を整備することにより、本地区の交通拠点となる厚木駅、社家駅とレクリエーション拠点である海老名運動公園、(仮称)中野公園とのネットワークを形成する。</li> <li>・拠点施設の機能充実を図り、誰でも安心・安全に利用できる快適な空間を形成する。</li> </ul>	<p>道路事業(基幹事業/市道53号線整備事業、市道10号線新道踏切構造改良事業)、公園事業(基幹事業/海老名運動公園遊具設置、(仮称)中野公園整備事業)、地域生活基盤施設(基幹事業/(仮称)市民活動支援施設)、高次都市施設(基幹事業/(仮称)市民活動支援施設)、地域創造支援事業((仮称)市民活動支援施設)、関連事業((都)河原口中新田整備事業、市道2161号線整備事業、市道10号線整備事業、市道50号線整備事業、JCT内付替え道路事業、相模川河川整備事業、さがみグリーンライン整備事業、厚木駅エレベーター設置及び耐震補強事業、社家駅周辺整備事業、中新田保育園整備事業、厚木駅周辺整備事業、学校施設を活用した緑環境整備事業)</p>
<p>整備方針4(防災・防犯機能の向上により安心・安全な都市環境の形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水防止対策により防災機能の強化を図るため、雨水排水の整備を行い、都市型災害に備えた災害に強いまちづくりを図る。</li> <li>・歩道設置、バリアフリー化、防犯対策による安心安全な歩行空間を確保する。</li> <li>・地域の防災及び福祉のまちづくりのために必要な避難空間を確保する。</li> <li>・防災行政無線屋外子局設置については、地域防災計画に防災行政無線局固定系子局として位置づける予定の施設の整備を行う。</li> <li>・非常用電源設備については、地域防災計画に避難所として位置づける施設の整備を行う。</li> <li>・防災備蓄倉庫については、地域防災計画に大規模防災備蓄倉庫として位置づける施設の整備を行う。</li> </ul>	<p>道路事業(基幹事業/市道53号線整備事業、市道10号線新道踏切構造改良事業、市道16号線あゆみ橋整備事業)、公園事業(基幹事業/(仮称)中野公園整備事業)、下水道事業(基幹事業/相模川直接流出区域浸水対策事業)、地域生活基盤施設(基幹事業/防災行政無線屋外子局設置、(仮称)市民活動支援施設、わかば会館整備事業、防災備蓄倉庫、市医療センター)、地域創造支援事業(提案事業/防犯灯設置、わかば会館整備事業、中新田コミュニティセンター整備事業)、関連事業((都)河原口中新田整備事業、市道2161号線整備事業、市道10号線整備事業、市道50号線整備事業、JCT内付替え道路事業、相模川河川整備事業、厚木駅エレベーター設置及び耐震補強事業、(仮称)海老名市食の創造館整備事業)</p>

## その他

### ○市民意識調査の実施について

本市では、市政に対する市民意識の傾向を把握するとともに、市民の意見・要望を的確にとらえて、市の実施計画や施策事業に反映させるために、隔年度に「市民意識調査(市政アンケート)」を実施しております。調査内容としては、「道路整備の推進」、「災害対策の強化」、「生活環境の保全」などについて行い、今後の市政への直接的な市民参加を促進するとともに、本事業の事後評価に対する基礎資料として活用します。



交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	5,299	交付限度額	2,119.6	国費率	0.400
---------	-------	-------	---------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

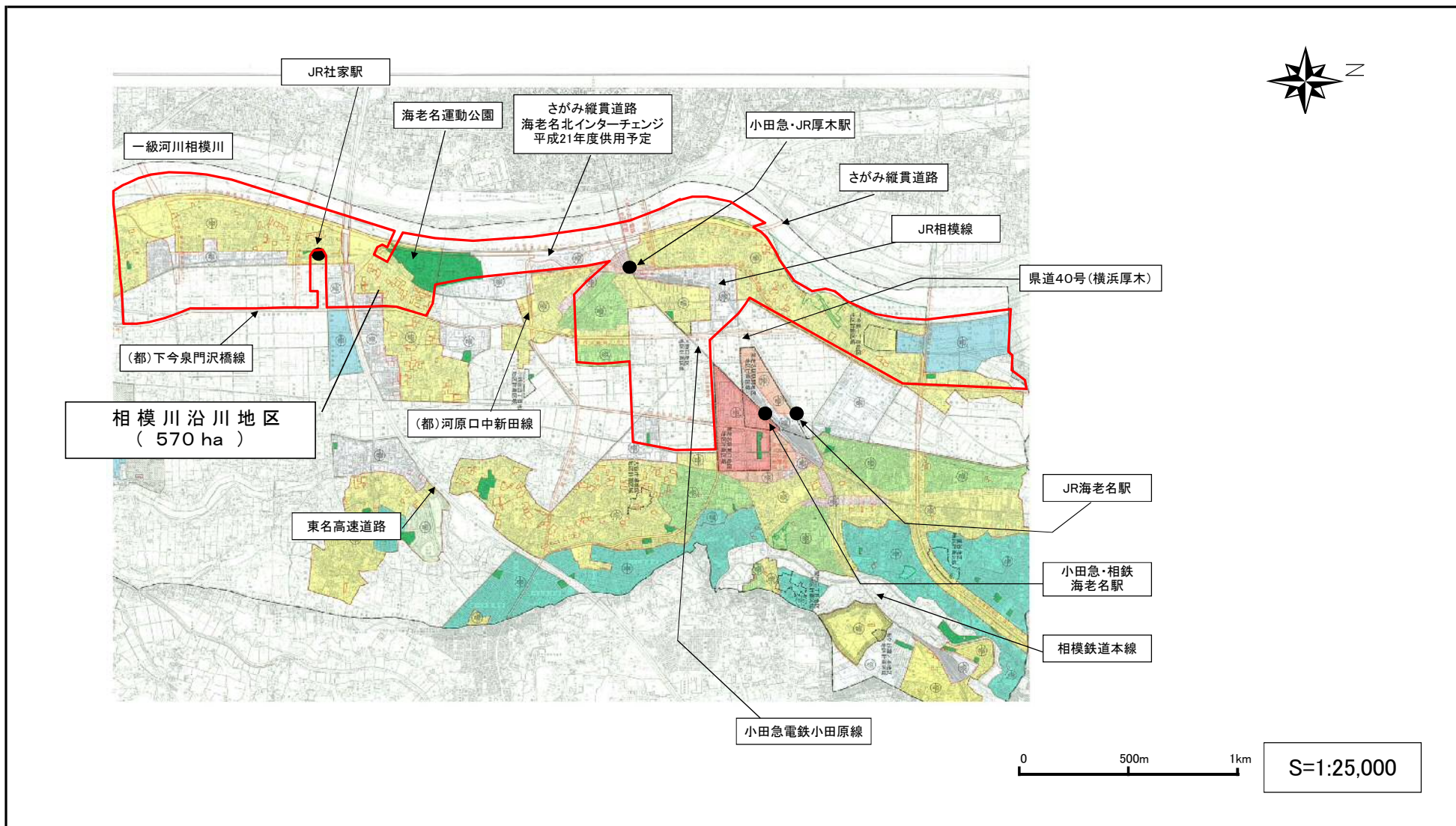
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路	市道53号線整備事業	海老名市	直	L=370m	H21	H24	H21	H24	101	101	101	0	101	
	市道10号線新道踏切構造改良事業	海老名市	直	L=14.2m	H21	H21	H21	H21	70	70	70	0	70	
	市道16号線あゆみ橋整備事業	海老名市	直	L=219.0m	H20	H24	H20	H24	1,566	1,566	1,566	0	1,566	
	市道65号線・市道241号線道路修繕事業	海老名市	直	L=560m L=400m	H24	H24	H24	H24	50	50	50	0	50	
公園	海老名運動公園遊具設置(仮称)中野公園整備事業	海老名市	直	1基	H20	H20	H20	H20	22	22	22	0	22	
		海老名市	直	18,497㎡	H23	H24	H23	H24	920	920	920	0	920	
河川														
下水道	相模川直接流出区域浸水対策事業(中新田地区内)	海老名市	直	410m	H20	H20	H20	H20	87	87	87	0	87	
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	防災行政無線屋外子局設置(地域防災施設)	海老名市	直	1箇所	H23	H23	H23	H23	4	4	4	0	4	
	(仮称)市民活動支援施設(地域防災施設)	海老名市	直	多目的プール(耐震性貯水槽部分)、自家発電機(防災用部分)	H23	H26	H23	H24	80	80	80	0	80	
	わかば会館整備事業(地域防災施設)	海老名市	直	非常照明用電源設備設置	H23	H23	H23	H23	18	18	18	0	18	
	防災備蓄倉庫(地域防災施設)	海老名市	直	1箇所	H23	H24	H23	H24	63	63	63	0	63	
	市医療センター(地域防災施設)	海老名市	直	非常照明用電源設備設置	H23	H24	H23	H24	59	59	59	0	59	
高質空間形成施設														
高次都市施設	(仮称)市民活動支援施設	海老名市	直	延床面積約5,020㎡	H22	H26	H22	H24	2,035	2,035	2,035	0	2,035	
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計									5,075	5,075	5,075	0	5,075	

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	防犯灯設置	地区内各所	海老名市	直	247箇所	H20	H22	H20	H22	5	5	5	0	5
	わかば会館整備事業	海老名市中新田	海老名市	直	延床面積約3,130㎡	H23	H23	H23	H23	32	32	32	0	32
	中新田コミュニティセンター整備事業	海老名市中新田	海老名市	直	延床面積1,158㎡	H22	H23	H22	H23	55	55	55	0	55
	(仮称)市民活動支援施設	海老名市さつき町	海老名市	直	約660㎡	H23	H26	H23	H24	130	130	130	0	130



都市再生整備計画の区域

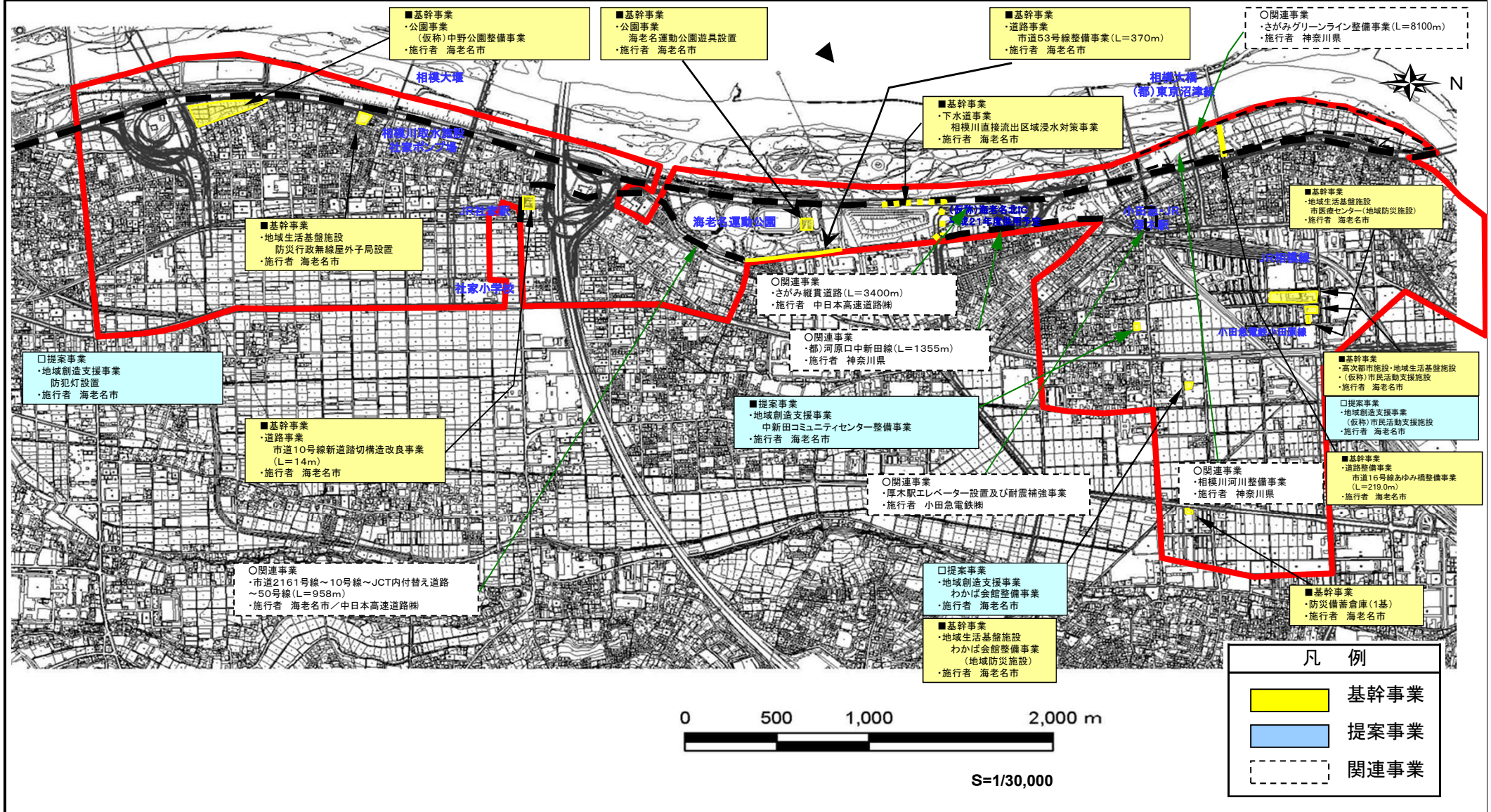
さがみがわえんせんちくかながわけんえいびなし 相模川沿川地区(神奈川県海老名市)	面積 547 ha	区域 海老名市下今泉一丁目、下今泉二丁目、下今泉三丁目、上郷、上郷一丁目、上郷四丁目、勝瀬、河原口、さつき町、中新田、中新田一丁目・二丁目・三丁目・五丁目、社家、中野、門沢橋一丁目・二丁目の各一部
---	--------------	---





# 相模川沿川地区(神奈川県海老名市) 整備方針概要図 2-1

目標	快適でうるおいのある空間の創出	代表的な指標	安全・安心に対する満足度 ( % )	29	(H19年度)	→	35	(H24年度)
			海老名運動公園利用者数 (人/年)	93,000	(H19年度)	→	93,000	(H24年度)
			拠点間ルートへの安全率 ( % )	76	(H19年度)	→	100	(H24年度)



## 相模川沿川地区(神奈川県海老名市) 整備方針概要図 2-2

目標	快適でうるおいのある空間の創出	代表的な指標	安全・安心に対する満足度 ( % )	29 (H19年度) →	35 (H24年度)
			海老名運動公園利用者数 (人/年)	93,000 (H19年度) →	93,000 (H24年度)
			拠点間ルート上の安全率 ( % )	76 (H19年度) →	100 (H24年度)

